

蓬菜町だより

第四十八号
平成9年7月20日
発行者 蓬菜町会
編集者 文化部

蓬菜町界限（その四十二）

天下まつりと根津権現（二）

林 順 信

◆ 何度も延期された根津権現

（ハチ）第二次大戦中に根津権現は、拝殿の一部が惜しくも焼けたとき、大きな奉納額も烏有に帰したと言われていますが…

（隠居） そうだったね。幕末の有名な浮世絵師の池田英泉（溪斎英泉ともいうが）という人が、根津権現の正徳四年（一七一四）の天下まつりの山車の光景を大きな額に描いて奉納してあった。これは天地五尺、左右十四尺というでっかい額だったね。第三番の山車で将棋盤に蓬菜の山車をひく若衆の男み肌が描かれていた。

（クマ公） これは正統の天下まつりが余り素晴らしいので、後年、保存版として絵師が描いて残そうと考えたんだね。それから現在売られて

いる絵番付も、天保十一年（一八四〇年）に木版刷りとして昔のまんまを再現してますね。あれを見ると、根津権現祭の大行列がどれほど盛大だったかが、よくわかりませう。

（隠居） ところで根津権現祭は、一度も二度も延期されたんだよ。二度あることは三度あるってネ。

（クマ公） 正徳まつりを御上覧になったのは家宣ではなく、幼年の七代家継將軍だったというけど…。

（隠居） 現在われわれの眺めている隨身門が完成した宝永三年（一七〇六）に、本来は大祭を行うはずだったが、この時は五代綱吉の生母桂昌院の喪に服していたので、造宮の大祭は出来なかった。

次いで宝永六年正月、綱吉が薨じたので、また大祭執行の機を失ったんだ。

さて六代家宣は正徳二年（一七二二）になって、天下まつりの格式で大祭を行うべく、準備を命じていたのに、家宣自らが亡くなるとうことで、根津権現の大祭はまたまた延期となってしまうんだよ。

（ハチ） ヘエー、三度目の正直ということにはなんなかつたんですね。

（隠居） そこでだ。江戸市民が根津権現祭をま

さに鶴首して待ちのぞんでいたんで、お上の幕府では、正徳三年（一八一三）令を下して、

山王権現祭 巳年（正徳三年）

根津権現祭 午年（正徳四年）

神田明神祭 未年（正徳五年）

の順番に天下まつりを行うことを定めただよ。そして準備を開始した。

（クマ公） これこそが本当の江戸の三大まつりということですね。

（隠居） 正徳四年九月二十日に、根津権現の造宮から八年もたつて、やっと根津権現祭をおこなうこととなった。だが今度は天気が悪く、翌二十一日も雨ふりのつづく気配だったので、二十二日に思い切つて延ばした。

（ハチ） 九月二十二日は、やっと天下はれたの根津権現祭が行われたんですね。

◆ 空前絶後の天下まつり

（隠居） 江戸中を沸かせた根津権現祭は、根津権現の氏子町内からだけでなく、江戸じゅうからも山車が繰り出して、番付は実に五十本という今までにない最も多い大祭となった。

（ハチ） これはスゲエ、山王様が四十五番、明神様が三十六番だったから、五十番まであ

る大行列は見ごたえがあったでしょうねエ。

(クマ公) そうだねエ、オレも実際にみられたらなあ…と思うよ。

(隠居) 当時はやり唄が残ってたね。

「宝永まつりは見事なことよ。誰も見にゆけ、行なばいざ、老後の思ひ出も足(タル)なむめり、だんだんけいごをひきつれひきつれ、よるなさはるなかつりゆけ塗笠御手に持てしどけのないのかサンサ見事へ」

(ハチ) 大祭のとき、宮神輿はどこに位置して練り歩いたんですか…。

(隠居) 神社の神様がお乗りになるから御神輿と書いて「しんよ」とか「おみこし」とか呼んでいて、大祭のときは、山王様は行列のしんがりから渡御されるが、神田では第十一番の次に入ったことがあったけど、山車の通行が遅れると、御神輿も同時に遅れるので、神田明神祭でも、その後はしんがりになったんだね、氏子の山車が江戸城内でご上覧にあづかってから方々の町内を巡行する。宮御輿だけは別のルートを通ってお旅所にお渡りになっていた。

(クマ公) お旅所って何でしたっけ…。

(隠居) 現在では山王様でも明神様でも、神幸祭は、日帰りとなつてしまつたけど、戦後でもご一泊を、氏子範囲のどこか適当なところです

ごされていた。山王様の場合は、茅場町にある攝社の中に御旅所を設けて駐輿されていた。明神様の場合は、矢の倉にあるお不動様のわきにお旅所をこしらえて一泊されていた。

(ハチ公) 昔の根津権現祭のときは、どこにお旅所があったんでしょうか…。

(隠居) おまえたち四日市てえのを知ってるかい。

(ハチ) ええ、昔は浅草観音様の二王門に大提灯があつて、たしか小舟町と四日市と書いてあつたよ。

(クマ公) そうだ、今は小舟町だけで、あれ一つで三百万円もかかるってエから大したもんですね。

(隠居) その四日市は、現在の江戸橋のたもとで、西川との間の日本橋川に沿つた東西に長い町で、関東大震災までは、塩物店といつて乾物商の仲買人が多くいたところだ。

大祭というのは、氏子が氏神様をお招きして、氏子町内を隈なく旅していただき、福を授け、災を除いて頂く様に神様にお祈りすることで、本来的にはちゃんと旅をして頂くというかたちをとるんだよ。

◆ 山車の一番と二番とは定番だった。

(ハチ) 天下祭の山車の巡行は第一番と第二番がきまつてるっていいますけど…。

(隠居) そうだ、大昔は、大祭の当日は、競走して山車をひいたので、そのとき最初を駆けていた南伝馬町の吹貫の猿の山車が、くわえていた御幣を落としたんでそのすきに、二番目の大伝馬町の諫鼓鶏(かんこどり)が先を越してしまったので、以来第一番は大伝馬町、二番は南伝馬町となつちやつたと聞いてますが…。

(隠居) でも、二代将軍秀忠が大伝馬町の鶏の山車を見て「諫鼓若深うして鶏驚かずということがある。鶏は太平の世を祝うものだから、この山車を以て末代まで第一番にせよ。」と上意があつたとも言われてるんだよ。山王様でも明神様でもそうだが、根津権現様でも第一番は大伝馬町の諫鼓鶏、第二番は南伝馬町の吹貫の猿だった。だが、根津権現祭のときは、鶏は真黒、猿は黒鳥帽子に白紙の幣を持つことが、山王、明神祭とは異つていたという。

大伝馬町は旧奥州街道の、南伝馬町は、旧東海道の伝馬の一切をとり仕切つていた、家康以前からの江戸の先住民で、江戸の中では

一日も二日も置かれていた実力派の町人だった。

御本社の宮御輿の警固も両伝馬町から人足を
出していたことがわかつている。この両町と
小舟町（小伝馬町の後をつぐ）とがいわゆる
「かつちよいい町」だったのだよ。

「町会長就任のご挨拶」

町会長 三宅英三

今回、永年町会活動に盡力された、小林町会
長はじめ猪熊さん、川西さんが勇退されまし
た。

執行部のみなさんの多年にわたるご苦勞には
心から御礼申し上げたいと存じます。

さて、その後を私の様な未熟者が、突然お
受けする事となりましたが、橋本さんはじめ
大勢の皆さんが力をお貸し下さるとの事で、
浅学非才をかへりみずウカウカとデシヤバル
事と成りました。町会の小使いさんとして努
力するつもりで居りますので、よろしくお力
添えの程お願い申し上げます。

未だ二ヶ月程の少ない経験で感じた事は、役
所関係のおつき合いが殆どだと云ふ事で、町
内会が役所の末端機関と同様だから、当然と
云へば当然でしょうが、そのうち、もう少し
町会自身の自主的な活動が、出来る様に成れ
ば良いなと思います。皆様の御協力をお願い
致します。

「総務を担当して」

総務部長 橋本明昭

永年に亘り総務を担当して来られた猪熊さん
が三月で辞められ、その後を引き継ぎ、総会
を迎えました。振り返ってみますと私の知る
限りでは、故倉田会長から歴代の町会長時代
の小林総務さんと、小林会長さんの時の猪熊
総務さんと、実に長い間の御二人のご苦勞の
結果が今日のレールを敷いて来られたのだと
思い、心から感謝申し上げる次第です。此れ
からは益々自治体の活動が強く望まれる事と
思いますが、隣接する各町会の中でも南、中
北部と広い地域での活動はややもするとコミ
ュニケーションを欠く恐れが生じる場合があ
るかも知れませんがその様な事のない様に会
員の皆様との一層の交流を図り、特に部長会
議等の定例化を提案して行きたいと思つて居
ります。此れからも一段と町会事業をサポー
トして参る所存ですが、町会員の皆様方の深
いご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

町会活動の概要

平成九年二月中旬から平成九年六月下旬まで

総務部

3/12 平成8年度、文京区功労賞（地域振
興）竹中一馬氏受賞される。

3/13 つつじ祭り協賛金の集金、小川様お一
人でお骨折り戴き有り難う御座います

3/19 蓬萊だより第7号、3/20付本日連
絡員宅に配布しました。

3/25 駒本小学校卒業式、町会出席
4/1 地域役員の一部交代について
平成9年4月1日付

南部：旧 原 様 ↓ 新 刀弥 様
中部：旧 猪熊様 ↓ 新 露久保様
北部：旧 吉田様 ↓ 新 日色 様
北部：旧 山田様 ↓ 新 本城 様

4/7 駒本小学校、入学式、町会出席
4/8 区報（10日号）配布

4/16 つつじ祭り開苑式10時開会、総務部
員は9時集合（参加者：池田、小川、
坂本、橋本、富永、各氏）

4/21 向丘地区町会連合総会、向丘出張所2
F会議室にて、三宅町会長出席。

4/24 区報（25日号）配布。

4/25 つつじ祭り親しよく会、開会11時奉
仕役員集合9時30分（参加者：池田、
小川、橋本、各氏）

4/29 つつじ祭り境内警備担当日、午前10
時～午後4時まで（警備従事者：小川、
堀江、坂本、橋本、各氏）

5/8 本郷清掃事業協力会、有料会員表彰の
町会推薦について、本日、協力会あて
推薦書を送付しました。（当町会2名）

5/8 区報、各役員宅へ配布。

5/21 日赤社資募金、本日、区向丘出張所へ
納金 ¥201,700円

- 5/25 日赤社資募金お礼文を各掲示板へ掲出
- 5/27 区報、各役員宅へ配布。
- 6/14 定期総会 於「かねこ」

防火防災部

- 4/21 本郷防火協会、消防署長歓迎会、弥生会館に於いて、三宅町会長出席

交通部

- 3/26 駒込交通安全協会、理事会開催、議題：春の全国交通安全運動について
- 4/6 15日まで10日間、春の交通安全運動について15日まで10日間、春の交通安全運動期間、交通部、婦人部、友の会会員の皆様には連日、街頭での安全指導に出て戴きご苦労様です。

- 5/22 駒込交通安全協会総会、弥生会館にて午後4時30分、石川交通部長出席 ☆小林前町会長、交通安全協会表彰を受賞されました。

文化部

- 3/20 蓬萊たより第四十七号発行配布
- 3/末 町会より本年度小学校へ入学した児童に祝い品を贈呈、該当者6名

婦人部

- 4/21 つつじ祭り甘酒茶屋、奉仕担当日、集合8時30分開店10時、4時半

参加者：婦人部全員、役員は小川、石川、橋本、倉田、各氏が奉仕する。

防犯部

- 4/18 防犯ニュースNo10、11号配布
- 5/12 防犯ニュースNo15号配布
- 5/30 駒込防犯協会総会、駒込警察署講堂にて午後7時、阪本防犯部長出席

計報

当町会の方本年二月から六月までにご逝去なされた方のお名前は左記の通りでございます。謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

記

渡辺伸夫様

編集後記

去る六月十四日に開かれた定期総会で小林音吉氏に代わって三宅英三氏が新会長に選出され、従って総務部長はじめ気鋭の方々が町会運営に当たることとなりました。時流に合ったリードが期待されます。従って編集委員も変更がありました。

編集委員

- 三宅英三 竹中俊之 常岡裕
- 倉田幸一 池田暉

平成9年度 予算計画書 単位：円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	336,298	総会費	200,000
町会会費	1,600,000	会議費	100,000
区助成金	222,800	生涯費	260,000
寄付金	90,000	備品費	120,000
雑収入	50,000	事務費	80,000
銀行利息	22,233	通信、交通費	130,000
		電気代	55,000
		総務部費	120,000
		防火防災費	80,000
		防犯部費	80,000
		交通部費	80,000
		衛生部費	20,000
		文化部費	420,000
		婦人部費	200,000
		青年部費	120,000
		慶弔費	80,000
		消耗品費	80,000
		友の会助成金	30,000
		予備費	66,331
合計	2,321,331	合計	2,321,331

平成8年度末 防災積立金残 2,763,065
特別行事積立金残 600,772

平成8年度 決算書 単位：円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	29,143	総会費	217,875
町会会費	1,803,800	会議費	99,967
区助成金	222,800	渉外費	219,316
寄付金	94,000	備品費	405,750
銀行利息	80	事務費	90,389
		通信、交通費	110,000
		電気代	53,228
		総務部費	6,200
		防火防災費	18,050
		防犯部費	20,700
		交通部費	0
		衛生部費	0
		文化部費	275,955
		婦人部費	183,933
		青年部費	38,841
		慶弔費	65,450
		消耗品費	47,088
		補助金	30,000
		雑費	47,088
		繰越金	22,233
		繰越金	336,298
		積立金	300,000
合計	2,588,962	合計	2,588,962

友の会へ